京城新報

人の[illegible]に重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●朝鮮酒の話（度支部鳥井技師談）

邦事も劣り勝ちなる朝鮮物の中で殊に困難しい酒ばかりが……味ではありませんよ抔の酒の醸造が學理上極て完全に文明的に出來て居るのは奇妙ではありませんか先づ學理上からザット摧いて御話をしますると酒の穀物から種々の手數を經て酒に成る迄には是非共化學上二樣の作用を受けるのでありますが其の作用といふのは醸酒上の最原料たる麹の中にヂヤスターゼ是はタカジヤスターゼと殆ど同一の原分たる物がありますが是が同原料たる蒸米の内の澱粉を糖化し其の糖化されたものが又た更に酵母即ちサッカロミセスといふ細菌の作用で初て[illegible]になるのでありまず此樣に二樣[illegible]る其の加減が空氣の濕度や温度の高低抔に大變密接な關係がありて完全に仕上るには非常に困難しい事で酒の出來不出來は實に多くは此時に起るのです彼の下等酒の頭に上るのは畢竟フューゼル油といふて普通のアルコールよりも多少組織の複雜なるアルコールと是を化學の方では高等アルコールといひますが此のフーゼル油兎角副生したがるので今の處日本では上下共厄介物の副生防遏に汲々として居ますが未だ充分の良法を發見しません然るに韓酒では以上一樣二段の化學作用を一樣一時に受ける樣に出來て居る結果其遣り方の至極無雜作なるにも拘はらずフューゼル油の副生は殆んどありませんマー此點に就ては迚も日本法の及ぶ處ではありません固より是程立派な學理に合ひ又た文明的の自然法に適合したヤリ方で居ながら採作が拙劣な爲め唯今の處では風味や經濟やらは殆ど御話にもならぬ始末ですが相應改良をすれば確かに結構なものになる事は聊か疑ない處です（續く）

●間島より一筆啓上

（前略）先般來北韓視察の途に相上り豆滿江沿岸一通り巡回仕候得共別段珍と申す程の事も無之候只炎熱燒くが如き京城を發し元山以北に達して以來汗なる者を知らず至極好避暑地を得たる心地致候然るに豆滿江口に至りし際は連日の降雨にて河水漲り幅約二里に達し對岸は露領西比利亞の廣漠たる原野と接し北東を望ば長白山雲崖に絕するを見る其風景又一入に候出發の際は此河にて毎々遊泳を恣にするの覺悟に候ひしも氣候は豫想と反し迚も左樣な勇氣は無之只時に此水を掬して渇を醫する位に候琿春及び間島も内地新聞又は京城邊にて傳ふる如き危險は更に無之日本人は依然舊の如く各業務に安じ居る樣に候局子街に至つては全く清國官憲の下にありて日人の自由に相成不申候、瀾洲の木材は實に夥多しきものに有之而かも伐採自由にして無價、唯河口を出づるとき一才（露尺）五厘位の關税を拂へば其後は本人の所得なりとの事に御座候、兎も角内地及京仁間の紳士諸君の避暑地としては斯かる好個の場所は他に無之費用は廉なり鮮魚は多くして値も京仁邊の十分の一と見て可なるべく各人の視察に依りて適利又多々可有之存候後略（イーエー生）

中山大納言

第四十四席　桃川燕玉演

時に竹内式部が「扨亭主、此貴島閑齋の娘初江と云ふ人が言はれる所全く相違ない惡い奴は此島田小一と云ふ奴、主人の贋艶書を書いて此少女を引攫はうとした不屆な奴私は明日都へ參る、此婦人は閑齋老の許へ送り届けて遣はす、併し斯う云ふ奴、又後を追つて參つてどう云ふ惡い謀を致さんとも限らぬから、明日此者はお前の宅へ止めて置いてか、吾々が五里と八里行つた時分にどうか解いて逃してやつて與れろ」治「へイ承知を致しました、ナアニ旦那樣が京都に御着になる時分まで、縛り付けて置いて、二三日經つて面へ鍋墨を塗つて棒縛にして追拂つてやります、太い奴でございます」小「ヤイ〳〵亭主、何を言つてやがるんだ鐵棒め、旅籠代を拂つて泊れば客だ、何をしやうと此方の了簡、手前達の察當を受けるんぢやねい、何も他人樣の懷中の物を取つたと云ふ盜人泥棒ぢやアねいんだ、此又士も何處から來やがつたか亂暴な、人を無闇に縛り上げて、ヤイ亭主馬鹿な事をほざくと爲にならねいぞ」亭「何を言つて居る、爲にならぬとは其方の事、何處だと思ふ尾州名古屋三家のちやき〳〵尾張大納言樣の御領分、此處へ來て巫山戲た眞似をしくさつてどうするか、何でも宜い、飲まず食はずに汝を庭の松の樹に括つて置くから覺悟しろ、此極道め……」驚いたのは島田小一と云ふ奴、眼ばかりぱちり〳〵やつて居る。兎角する中夜も明けましたから　式「扨亭主や、いろ〳〵世話になつた、然らば俺は此婦人を連れ、京都へ發足をする、籠旅代は何程に相成る……」亭「エイもう旦那樣、決して其邊の御斟酌はいりませぬ、あの島田小一と云ふ奴から悉皆宿錢を截きます」式「宜しいか」亭「へー宜うございまする、あんな奴の持て居ます金を取ませぬければ取る金はございませぬ澤山彼奴金を持て居りますからあなた方の旅籠代は彼奴の懷中から取ます……」小一の奴めねらい事に出會した、で竹内式部初江の兩人が出立に及んで、餘程刻限が經つて小一を助けてやつた、此奴は鼠舞をして何處へ飛んで行つたか逃げて仕舞つた。式部に於ては美濃の大垣に出まして、あれから江州路をぶら〳〵、急がぬ旅とて三日ばかり經つて京都へ參りまして、中立賣通り上る町の貴島閑齋の宅へ來て見ると、なか〳〵立派に手廣く住つて居る、流石に娘は直ぐ家へも行き兼ねまするから、近邊の懇意な處へ女を待たせて置いて、式部が案内を乞ひまする閑齋の御弟子が出て來て、見ると立派な若侍、先生に御目に懸りたいと云ふ、閑齋に告げますから「此方に……」案内に付いて式部座敷へ通つて、初對面の挨拶が濟んで主の樣子を見ると、年齡五十四五と云ふ、流石德大寺樣へ御出入りを致す御醫者でございますから自然誠に人柄の良い、好い人物だ、式「扨先生、御當家へ上つたのは外ではないが、御息女初江殿の一件、熱田の桔梗屋と云ふ宿屋に於て、これ〳〵云々斯う云ふ次第で、段々御當人へ御異見を致し、拙者が送つて參つた此近邊に沙汰を相待つて居らつしやる、何か仰有る事もわらつしやらうがどうか拙者に免じ何事も仰有らず、御息女を家へ御入れなすつては下さらぬか、其邊を貴老へ拙者から只管に御願ひをする、どうか御承知を願ひたい」段々と話を聽いて貴島閑齋と云ふ人が閑「誠にどうも御深切の其許樣、御禮の申上げやうもない、何とも心得違ひの娘、彼には種々言つて聽かせる事もございますが、併しあなたの御顏に免し何も申しませぬ、宜しい、宅へ入れまするからどうか本人を御連れ下さい」閑齋と云ふ人もなか〳〵理屈の解つた人、そこで直ぐ初江を呼んで來る、當人眞赤な顏をして兩親の前に兩手を突いた、一通り叱言は言つたものゝ、娘の事でございますから、茲で先づ首尾能く詫も叶ひ、家に入ることになりました。扨式部、是から宿屋へ還らうと云ふ「それなら手前方に座敷が澤山ございますから手前方へ御泊んなすつてまア〳〵御構ひ申しは致しませぬから、緩りと御逗留なさい」と云ふ、そこで式部が閑齋の家に泊つて居る。段々樣子を見ると、どうも万端に達して居る、如何にも天晴の人、閑齋に於ても悉く感服をして、是はどうも大層な若者、えらい人物だと惚々さした。年を取つた閑齋が惚れる位だから、娘の初江が大層此竹内式部に惚込んで、遠くて近きは男女の間、何時か情を通じました、それを閑齋が知らぬでもないが、何にしろ竹内式部が如何にも天晴の人物、あの位の婿を取れば不足はない、流石は巳の娘、よく取つた〳〵と、猫が鼠でも取つたやう、閑齋老頻りに内心喜んで居ります。



日清同盟説

京城新報

清國は今何不可解なるか、列國の視線は一齊に清國の上に集り、既に其國情其國民の研究を了せるが如くなるも、今尚一種の疑惑は清國の上に蔽ふもの〻如く感ぜらる、何となれば清國に對する批判を聞くに此老大國が將來能く四百餘州を統一して文明國と伍するに至る可きかと疑ふ[illegible]將來に對して列國は概して殆ど未知數とするものゝ如し、故に同情するものとさせざるものとは其批判に大なる徑庭あり、或る者は過度に恐怖し、或る者は極度に輕侮す、余輩を以て見れば何れも極端なる說にして眞相を得たるものに非ざる也、然れども其眞相[illegible]の風說を生じ極東[illegible]き事あるに至りて[illegible]す、此時に於て望む所は清國が能く其位置を自覺して他の煽動若しくは批判に依りて輕々しく動かざることなり、頃者傳ふる所によれば米國と東西相應じて[illegible]んと說く者ありと、是れ國民全体の聲にあらざるも或る一部には斯る說を唱道するものもあらむ、而して此最も注意すべき風說が伯林邊に起り、一は北京の天を蔽ふ、此說は我駐獨大使によりて打消されたるも、是れ强ち伯林に於て[illegible]ものにはあらざるべし、必ずや北京に於て斯る考案を持するものあるなりと信ずるも[illegible]一部の間に日清同盟說の起りつゝあることは到底否認する能はざるべし、若し清國にして眞に東洋の平和を[illegible]同盟條約を締結せ[illegible]して協和一致する[illegible]る所あらば此問題[illegible]極東の平和に力を[illegible]清廷間に同盟說の[illegible]可らず、日清同盟說の傳へらるゝも決して不可思議にも非ざる也、聞く清國政府に在ては近來大に自覺する所あり、爲に帝國との懸案も其解決を速ならしめたりと云ふ、[illegible]既に自覺せらる[illegible]日清同盟若しくは日清協[illegible]說の起り來るは[illegible]余輩は之が一の風說に止らず[illegible]を望むもの也、東洋今日の上より見、世界の大勢を觀察すれば日清兩國は決して幾分の反目を許さず親和協同して東洋の平和を堅確ならしめざる可らず、清國にして帝國の誠意を諒せらるゝに於ては日清同盟は決して夢想に非ざる也

紐育電報

▲北極探險の結果

米國人クック氏は北極探險を終れり其報告によれば北極は子午線相合して毎に正午を示し東西北の三方消失して孰れの方面も南を示し昨年九月日暮れてより今年夏の明くる迄永き夜間を地中に穴居せりとあり（四日東京經由）

北京電報

▲露清懸案解決談判

清國政府は日清懸案の解決に次ぎて露國との諸懸案を解決すべく北京駐劄露國公使と談判期日に就き交渉中なり（七日午前）

東京電報

▲日清協約の調印

本日北京に於て我が伊集院公使と清廷の間に左の協約調印成れり（四日夜着）

第一、日本は間島の清國領土權を認め清國は日本が日韓人の保護權及鐵道の布設權を承認する事

第二、法庫門鐵道を日本の承認なく延長せざる事

第三、清國は日本の撫順煙臺炭鑛採掘權を認め日本は採掘稅を清國に納むる事

第四、清國は日本の營口大石橋鐵道を承認し支線を外人租界地に延長するを承認する事

第五、日本は清國が南滿洲鐵道線を横斷し京奉線を奉天小西門街に延長するを承認する事

第六、安東縣に於ける南滿洲鐵道會社敷地は日本の附屬地なるを承認する事

▲日清同盟と獨紙

ベルリンにて日清同盟論傳へらるゝに對し駐獨大使內田康哉氏は其無根にして愚論なるを指摘したり（同上）

▲統監府の豫算提出

兒玉書記官の手にて整理中なりし統監府豫算は昨四日主務省へ提出せられたり（五日發）

▲統監夫人の出發

曾禰統監夫人は本日午後三時三十分新橋發渡韓の途に就けり（同上）

▲韓銀理事の決定

韓國銀行は既報の外武山順平氏に決定す（同上）

▲韓銀監事の候補

韓國銀行監事二名は日本銀行又は大藏省より人撰中なり（同上）

▲三角線と連絡調査

統監府は本月中に韓國と敦賀と連絡及京元線に關する調査の爲め某高等官を派遣さるべし（同上）

▲韓銀株の大盛況

韓國銀行株の申込數は五日夕迄に二十七倍以上に達したり（七日午前）

▲韓銀株の應募數

本日締切の韓銀株應募數は午前十時迄に東京にて[illegible]

●東煙工場と細民

東亞煙草株式會社が當地に製造所を設立する事となり既に工事に着手せるは既報の如くなるが右に關し佐々同會社長は語りて曰く元來此計畫は從來輸入に仰ぎし官煙を直接需要地に於て製造販賣するものなれば此結果漢城の產業界に著大の好影響を與ふべきは言ふまでもなし思ふに各種事業中特に艸草の製造は其製造額百千萬圓を算するも是れが巨額に達する迄には厘毛の零細より成れるものなれば自然多數の職工を要し現に同社今次の計畫によるも五千餘人を使役し且つ事業の性質上纎弱なる婦女子又は童幼の職業に恰當せるを以て下級の細民は爲めに生業の途を得少くとも從來疾苦の幾分を除却するを得べし何となれば五千餘人の工賃は如何に少額に見積るも一箇月四萬圓以上に達し加之材料の消費或は又運搬の勞力賃等直接間接に韓民を潤ふ額は蓋し甚大なるものあり故に會社側よりすれば無論營利事業なるも一面より之を見れば則ち社會的授產事業と稱するも敢へて過言にあらざるなり現に工場所在地が其地方の繁榮を來たしつゝあるは內地にても其例證乏しからず然れば會社は飽くまで此見地を忘れず着實以て事に處し熱心以て其業を經營し韓國拓殖上微力を貢献せんと欲すと云々（電通）

●ハーバート訪問模樣

密使事件の張本人として世人の注意を惹ける米國人ハーバートが去る三日米國總領事代理に伴はれて統監府を訪問せるは既報の如くなるが其際彼は石塚長官及小松外務部長代理に面會し其語る處によれば今回渡來の用向は單に韓國に於ける財產を處分する爲めにして其處分終了次第歸國する積りなり又自分は始めより日本の施政に反對したる事なく統監政治には寧ろ非常の同情を表したれど下級韓人の窮迫を救はんと企てたる爲め誤解を招きたる事なきにあらず杯と述べ從來の行動に就き辨明する處あり是に對し石塚、小松兩氏は同人も既往に於て如何なる言動を爲したるやは別として唯だ財產處分上正當なる請求に對しては他の外國人同樣の便宜を與ふるに吝ならざる旨を答へ尙は互に意見を交換して別れたる由

●一銀貨幣發行高通報

（自八月廿九日至九月四日）

第一銀行券總發行平均高	一〇、七九三、六〇〇
內正貨準備發行額	三、六九二、九〇〇
保證準備發行額	七、一〇〇、七〇〇
銀行券平均手許有高	六六五、一三四
銀行券市場平均流通高	一〇、一二八、四六六
硬貨發行額（九月四日現在）	四、五五四、七五〇
內金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同十圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	七〇三、〇〇〇
同廿錢	八一三、五〇〇
同十錢	五九三、〇〇〇
白銅貨五錢	七七五、〇五〇
靑銅貨一錢	一五五、五〇〇
同五厘	六四、七〇〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●早大校友會開催

在京仁の早稻田大學校友は去る四日午後六時より花月樓に會し本部よりの祝電を朗讀し夫れより校友諸氏の演說等ありて後宴に移り歡を盡して午後十[illegible]

●授業料滯納處分

京城居留民團立各學校に於ては生徒の授業料滯納者頗る多く學校經濟上民團理事者に於ては爲に多大の苦痛を感ずる由にて目下一々整理中なるが殊に戶口の增殖に連れ逐年學校增設の必要に迫られ居る際滯納者を生ずれば不都合の次第に付き此の際授業料を納付せざるものは不得止國稅滯納處分法に依り容赦なく夫々處分する方針の由なれば滯納者は速かに納付の手續を了せらるべしと云へり

●八月中の龍山局

八月中に於ける龍山郵便局の爲替金高受付二十三萬〇五十四圓七十三錢、同拂渡十五萬六千八百〇九十七錢、貯金受込一萬二千七百五十五圓同拂渡九千八百八十六圓餘、普通郵便物引受十五萬〇九百〇五個同配達十一萬五千百十五個特種郵便物引受三千三百〇八個同配達二千六百五十三個小包郵便引受一千〇四十個同配達一千四百三十六個なりと云ふ

●稅關長會議開催

來年度豫算編成に關する事項を議する爲め九月十日より五日間の豫定を以て稅關長會議を開き大略左記事項を議する筈なり

一、豫算配付方法に關する希望
二、經費の節約を要する事項
三、新規施設又は擴張を要する事項
四、稅關設備及開港維持等に關する臨時事業に關する事項

●教育費と授業料

京城民團教育費は今年度に於て經常費八萬餘圓を要するが內約三割即ち二万四千餘圓は各種學校の授業料を以て充當する豫算なれば萬一授業料を滯納せんか學校經濟上多大の影響を及ぼし民團の發展を阻害すること頗る甚しきを以て生徒保護者は大に注意され度しと

●商品陳列館移轉

農商工部前にある商品陳列館は現在の建物にては甚だ狹隘なるのみならず裝置上不便尠からざるを以て他に移轉せんとし恰當なる建物選定中なりしが鐘樓前の元韓人商業會議所家屋が空屋なるを以て之を借受けんとて交涉中の由

●警備船の回航期

注文中の沿岸警備船は十五日受渡しを終る筈なるが受取の上は直ちに吳にて砲を搭載し練習をなしたる上仁川に回航する筈なるが其筋にても非常に急ぎ居るを以て回航の上は直ちに服務せしむる筈なりといふ

●南大門道路修築

南大門より古市町に通ずる道路は電鐵線路布設の當時より中央に低所を生じ交通上至大の不便あるを以て是れを取り擴げ完全なる道路に改築する爲の目下土木局より鐵道廳に用地讓り受の交涉中なる由

●土地整理實施期

度支部に於ては豫て立案中の全國土地丈量は來る十月頃より實施する旨傳へられ居るも韓銀問題其他緊急なる要務續出且つ比較的困難なる事業なれば荒井次官の歸任を待ち調査に着手す

●下賜金使途變更

忠淸南道にては行幸紀念下賜金を教育奬勵費として圖書器具等の購入費に支出する筈なりしも尙永久に紀念する目的にて實業思想涵養の爲め金五百圓を支出し學校園、花壇等を設立することゝなり之れが使用變更を申請したりと

●一生徒の教育費

京城民團立各種學校に於ける經常部教育費は之を現在の各兒童一人宛に割合つれば中學校は生徒一人に付百圓餘女學校は生徒一人に付八十六圓餘小學校幼稚園は一人に付約二十圓を要し此の總平均一人に付二十七圓餘を要すると

●日清協約の發表

日清新協約成立の事は我社東電の報道せし所なるが右協約は愈々八日我外務省より公表する事に決定したり因に統監府にも全文電報ありたる由

●水上警備船置場

全羅南道に於ける水上警備船置場は木浦、麗水の二ケ所に決定し內部警務局にては廳舍借入其他諸般準備の爲め不日警部及巡査を派遣すべしと

●大臣會議の開催

昨日午前十時より內閣會議を開き政務を討議したるが任度相のみは例に依つて欠席したりといふ

●韓銀株の受付數

（當日午後一時締切）

第一銀行其他の韓國銀行各申込取扱所に於て東京本店より締切の入電ありたる午後一時迄の同株申込受付總數は左の如くにて各取扱所は早朝より申込者門前に詰掛午前九時受附開始を待ち天一銀行はイの一號に二百株村上英策漢湖農工銀行は光井ツルの一千五百株を筆頭に韓一銀行は同行の一千株漢城銀行は森重作の二株に始まり各取扱所とも豫期の如く非常の好景氣にて締切時間の取扱所受付總數は左の如し

第一銀行支店受付數	約十二万七千三百五十株
天一銀行 同	十一萬四千九百五十一株
韓一銀行 同	十一万株
漢湖農工銀行 同	十四万千四百十五株
漢城銀行 同	五千五百四十八株

▲一進會と韓銀株

一進會は當地第一銀行支店へ韓銀株五萬株此保證金廿五萬圓を申込めり尙併して該保證金は例の前統監より宣言せし廿萬圓を流用する積りなりと

▲仁川の募集景況

仁川に於ける韓銀株申込景況は當日午前十一時迄に一萬五千株に達し尙は續々申込ある模樣なりき

▲平壤の申込總數

平壤に於ける同株申込總數は一萬二千株なりしと云へり

▲釜山の申込總數

釜山に於ける同上申込の總數は一万五千株となりしと云ふ

●韓銀株の募集景況

▲門前市を爲す 韓國銀行株式募集は昨日午前九時より開始せられたるが一銀支店の如き開門以前既に人山を築くの盛況にて宛然停車場の切符賣買所の如き觀あり而して申込金は總て現金拂込を要するを以て孰も

▲紙幣を鷲攫み して提出し銀行の受付口にては人手が二三本も突き出され吾先を爭ふ其後よりは押寄する人波を打つて盛裝せる婦女子の如きは折角の衣裳を汗びしよびしよに塗るゝ光景實に驚くの外なし斯かる盛況なれば流石熟練の銀行員も

▲指先踊れる程 紙幣の勘定に疲れ果て眼が廻はらん計りの多忙とは方さに其有樣なり然れば記者が其光景を訪問すべく受付口に至れる時拆行員孰れも眼をキヨロ〳〵として前の辻褄も合はぬ位なりき（電通）

●於青島の鰯大漁

群山を距る二十哩西方沖合の於靑島は又の名を金比羅石と稱し邦人の漁業者五十余戶あり例年舊六月二十七八日より九月二十日頃までは鰯の漁季なるが本年は如何なる都合なりしや十七八日頃より鰯の漁殆んど皆無にて漁業者は少なからず失望しありたるに舊盆の十四日午前十時より鰯地曳に掛るわ掛るわ翌朝まで一寸の手も隙けず巾四尺五寸長さ五尋の舟（四斗樽十八挺）三十隻に撈收して猶は容器の不足を告ぐるより已むを得ず網の袖を解き袋を閉ぢたる儘にて翌朝曳き歸りたる位にて例の煮干しなど思ひも寄らざれば生の儘一船八圓乃至八圓五十錢にて賣飛ばしたりと斯くの如き大漁は於靑島前古未曾有にして是れより同島は益々豐漁となるべしとて一般に喜び合ひ居れりと云ふ

●憲兵隊長送迎宴

李首相以下各大臣新舊憲兵隊長明石少將及び榊原少將の送迎宴を一昨五日正午より景福宮內慶會樓に催せり陪賓として大久保大將、西島中將、石井少將、石塚長官、小倉經理部長、藤田軍醫部長、外波大佐、藥師川十時の兩副官及李親衛府長官、趙李兩武官を招待し李首相の挨拶兩少將及び西島中將の答辭あり酒間軍樂隊の吹奏等あり和氣藹々たる間に散會せり

●ソンタク邸夜會

ソンタク孃は先夜李允用、李明九、李龍文、高禮式課長、李相弼、崔禮式官以下宮中に關係を有する韓人數名及北部安國坊居佛國人ホルキヨン等の諸氏を自邸に招待して夜會を開きたり

●會議所の役員會

來る十四日より商業會議所聯合會開催に付き開會の準備、提出議案等に就き當會議所にては今七日午前八時三十分より役員會を開催する筈なり

●領事館員舟遊會

在京城露國領事は同館員及び在京外國人を招待して去る四日漢江に於て舟遊會を催ほしたりと云ふ

●平壤新聞の發刊

來る九月十二日より平壤壽町の同社より日刊平壤新聞を發刊する筈にて目下其準備中なりと云へり

●成歡地方の豐作

成歡地方は近年稀れなる豐作なるを以て日韓人共同にて明八日より翌九日に掛けて祭典を行ふ由なり

●宇佐川總裁歸着

韓國銀行設立委員會に出席の爲め東上中なりし東拓總裁宇佐川一正氏は去る五日夜歸着したりと云ふ

●俵學部次官歸任

馬山浦に避暑中の學部次官俵孫一氏は一昨五日歸任せられたり

●鐵道院參事入京

鐵道院參事守下精同川本永守の兩氏は五日入京京城ホテル投宿

●佐々社長の出發

東煙社長の同氏は去る五日當地出發し滿州營口へ向へりと云ふ

●北川主事の昇任

臨時財源調査局主事北川繁吉氏度支部事務官に任せらる（四等）

公人私人

▲有元郷治郎（岡山縣農會技師）五日釜山
▲西川宗一（朝鮮海水產組合長）同上
▲佐藤政太郎（木浦擴絶場技師）四日退京
▲石川啓（熊本縣事務官）五日仁川より入京
▲和智熊太（熊本縣技師）同上
▲緒方二三（熊本縣水產組合理事）同上

近事片々

▲木越中將 駐韓六師團長として來任の途に有中將は頭腦明晰果斷の人好箇の軍政家
▲曾ては陸軍大臣の候補者に數へらる中將は戰時の雄將のみならず平時の好將軍也
▲回顧すれば日露戰役先登第一に十二師團の健兒を率て仁川に上陸されし雄姿勇儀
▲今や此良將軍を得て暴徒の大掃討を行はんとす必ずや良好の結果を見るや疑なし
▲暴徒の掃討は韓國開發の最先問題暴民亂徒の跋扈する間は何事も實行する能はず
▲三井物產一斤八十一圓にて五ケ年の人蔘專賣權を得たりと淸商の競爭も終に敗北
▲人蔘專賣では從來余り利益を擧げたる者少しロンドン商會も三井物產も利潤せず
▲幾分弊害はありとも自由賣買を可とせずや專賣にては利する所一局部耳開放公平
▲開放すれば韓人にも在留日淸人にも潤ふ所多し專賣法は進步を害すとは一の異論
▲例の竹槻閑話は統監が此頃の樣に散步に出掛ては病氣の揑造も出來まいと豪語す
▲竹槻閑話子は統監の散步外出を得て鬼の首でも取つた樣に意張る稚氣寧ろ可愛也
▲散步外出が胃癌腎臟病でないとの反證にはならず併し力味返る所は聊か乙なもの
▲彼は地方遊說が二種出來大韓協會と一進會の合同目論見は韓國氣運の一轉進也と
▲成程茲に至て稚氣寧ろ憐むべきもの朋黨結社の合同や國是遊說團杯は進運に非ず
▲大韓一進の合同杯を左程重く見る樣では未だ韓國の實情は全く知らぬと見へる哩
▲荀も韓國の事を論議するとならば今一層韓國人を研究するがよし生物識大抵の基
▲米淸二國東西相應じて世界に雄飛せんと或る淸人說く伍廷芳ドン邊の夢物語にや
▲墨西哥には支那人を米國へ秘密に入るゝ秘密會社あり一人二百五十弗の料金也と
▲公然の入國を拒絶すれば此樣な手段を取る會社が出來る非開放主義は到底續かず
▲去年三月生死不明と傳へられし米國のクック博士今尙は生存し北極探險を了すと
▲頑冥の電報に依れば首尾好く北極探險をなせるもの〻如し米人は今尙確信せずと

長谷川町一丁目繁榮會事務所前にて蟇口金入大小二個金七圓十五錢及び三錢郵便切手を拾得各南部署へ屆出でたり

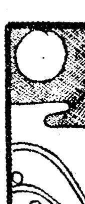
●科料二件 長崎縣平民當時旭町一丁目[illegible]こは店頭にて裸體となり[illegible]何れも南部署にて處分せらる[illegible]二十錢の各科料に（自六日午後六時）

[illegible]京米穀取引所は當中兩期賣買を不穩と認め賣買を停止すると共に賣買に對して増證據金の追徴を通達したり

▲松尾委員長通牒 松尾委員長は全國韓銀株取扱店に對し午後一時締切の旨通牒を發したり（以上六日發）

[illegible]校友會を開催したるが[illegible]先づ幹事菊池謙讓氏開會の挨拶を述べ次で清水幹事は同大學總長大隈伯其他各地校友[illegible]田金之助、井上雅二兩氏當選したりと云ふ

●拾物二件 一昨五日午前六時五十分頃漢門前横町にて革製信入一個金二十三錢及び安田依次郎と記入の鐵道乘車券一枚在中[illegible]に覆ぜせず販賣せし爲め三十錢▲和歌山縣平民當時櫻井町五十番戶の一池田清次郎[illegible]



●新工夫の詐欺

▲擔軍の荷物を詐取す

旭町一丁目七十七番戶船越由太郎方同居小島ャジユ（二九）は寺洞の某家へ下女奉公中なりしが本月三日暇を取り前記の所へ轉居せんと同日午後九時頃寺洞より擔軍を雇ひ衣類及現金三十圓入りの柳行李二個及び風呂敷包一個を負はしめ旭町の船越方の附近迄來り雜貨屋に入り買物をせんと其前に擔軍を待たせ置き買ひ物を濟まして出て見れば件の擔軍は何れへか逃走姿の見ねざるより大に驚き其の旨南部署へ届けしかば同署の長野工藤の兩刑事は直ちに犯人搜索中に着手し翌四日風体怪しき三十前後の男が柳行李を擔ぎ南山町邊を徘徊せるを發見し直ちに取り押へて同署へ引致取調べたる所同人は熊本縣飽託郡古郡村三百五十七番地平民當時旭町一丁目二百六十一番地居住山隈嘉市（三九）なるものにして平素駄草子行商を業とせるが三日の夜旭町一丁目秋山某方の前を日本婦人が一人の韓人に前記の行李を負はせ南に向つて通り行くを認め不圖惡意を生じ何どかして此の荷物を詐取せんものと窃に尾行する內該婦人が買物に這入りしを幸ひ擔軍に向ひ婦人より其の荷物を先きに持ち行き呉れよと依頼されたりと稱し旭町法務院長官舍前を三日月湯通りの上に出で天眞樓前を經て南山町本願寺の下なる立花某宅の横街路にて其荷物を下ろさせ二十六七錢を韓人に與へ立ち去らしめ其の內風呂敷包中には女の下駄等あるより後日事の發覺せんを恐れ之を本願寺前の道路に放棄し其の近所に住める自分の知己なる伊藤組の挽子石井兵造方に至り同人の妻に語つて云ふ樣自分の今同居せる者は酒癖惡しく同居し難きに依て相當の家を借り引移らんと自分の荷物を纏め持ち來りたれば明日迄預り呉れよと僞り之を預けて立去り翌四日是れを放賣或は入質せんと同家に至り該行李を持ち出す途中と取り押へられたる旨自白せり尙ほ自分が穿ち居る雪駄は四五日前永樂町一丁目の家名不詳の待合の玄關に於て窃取せる旨をも自白せりと

●窃盜美人の罪狀

▲日本人倶樂部金庫破り

仁川万石洞八景園にて數日前現金三十六圓餘入りの財布紛失したるより其の嫌疑者として同家の下女廣島縣生の山縣かめ（二四）と云ふを引致取調べをなしつゝありし事は當時前科三犯の美人と題し既報したる所なるがかめは却々の強情者にして實を吐かず刑事を困らし居たるが昨日に至たり終に逃かるべからざるものと觀念したるにや遂に自白に及びたり其の云ふ所に由れば既に前科三犯ありて最初は廣島にて受けたるが其の後韓國に渡り三十九年仁川本町河野方に乳母に入りて窃盜を働き刑を受け出獄後四十年京城**日本人倶樂部**（今の京城ホテル）に下女となりて入り込み同倶樂部內の**金庫を破**りて金員を窃取したる事ありと尙は同人の情夫は仁川仲町二丁目に居住し居れりと云ふ

●短銃强盜の逮捕

▲敷島遊廓門前の捕物

昨日仁川水場木村組に短銃を所持せる怪しげなる二十四五の男入り來り金品を强請し居れりと仁川署に訴へ出でたれば警官出張したる所既に立ち去りたる跡なりしかば各派出所に手配なし探査したる所同夜八時頃酷似せる男敷島に入り込みたるを突き止め警戒中**高砂樓の濱松**及び仲居を引連れ人力車にて同廓黑門を出でんとするにぞ直に引捕ね取調たるに彼は廣島阿蘇郡瀨戸村字在木當時**龍山鶴田組**に居る旨を申立てしが彼れが懷中の短銃を發見したる警官は有無を言はせず仁川署に引致せんとする**途中**花町にて**逃走**を企て新昌洞まで逃げたるを直ちに追跡し漸やくにして逮捕引致し目下取調中なるが同人は驚くべき**大賊**の見込みなりと云ふ尙は詳細は後報せん

●僞名して娼妓となる

▲前借金は色男が捲上

長崎縣壹岐郡香椎村二百四十八番地當時本町一丁目篠隈旅館止宿今西松次郎（三八）は以前在郷中常に東京へ出掛け何がな一仕事せんものと考へ居りしが本年始め遂に上京せしに扨て行て見れば据膳して待つものもなければ萬事思ふ樣行かず困じ果てし末隣家某方へ下女奉公中の富山縣下新川郡舟見村大字舟見うた長女坂本ふじ（二〇）と心安くなりしを幸ひ之を喰ひものにせんものと一日ふじを呼び出し自分の內は國にて可なりの資産を有するものなるが過日目的ありて上京せるも其目的外れて大に困り居るも早々親元へ送金方申やる譯にも行かざれば一時助け呉れよと甘言もて籠絡し遂にふじをして韓國に於て娼妓稼業をなす事を承諾せしめしも母の承諾書及印鑑なきに當惑せし際豫て同人と懇意なる富山縣下新川郡舟見村大字舟見千六百五十番地花房よしいなるものゝ母に情を明かしよしいの名を借り其母の承諾書を得ふじはよしいと僞名し本年四月二日當地新町大桝屋より千草と名乘り前借金三百五十圓を得中五圓を本人に渡し殘餘は全部今西が着服せし事其の筋の知る所となり今西は此頃南部署に引致され取調中

●慈善を種に金儲

佐賀縣藤津郡鹽田村馬場下三百四十番地平民伊作長男峯松佐八（十八）は明治町下宿業辻屋方に止宿中なるが去る一日南部署に出頭し自分は福岡縣若松市鎭西孤兒院の囑托を受け物品慈善販賣及篤志賛助員募集を爲すべく既に釜山に於て之に從事せしも同地は難きに本院より直接出張せし爲め充分の好果を收め得ざりしも同地にて得たる利益金の內宿料旅費等の實費を去り殘三圓を本院に送附せり尙當地にては日用雜貨を普通價格より一二割位高價に販賣し博愛の志士の同情を得て該事業を助けんとするものなれば異としやかに陳述せしより同署にては別に差閊へなしと認許を與へしに本月五日午前十時三十分頃同人は大なる寄附帳を以て新町附近を戶毎に就て合力を乞ひつゝあるを新町派出所の巡査が認め一應南部署へ同行取調べしに何等其筋の許可を得ずして警察へは慈善販賣等と僞り前記の如く慈善を名として世人を瞞着し濫りに金錢を募集し私腹を肥やさんとの奸策に出でしものと判明せしが同人は既に當地にて得たる金三十四圓五十五錢を懷中し尙彼釜山にて三十六圓八十九錢を得中譯の爲め本院へは僅に三圓を送り又窃に自宅へ七八圓を送り居りしを以て懷中せる金中より本人の旅費を取り去り殘る二十五圓を本院に送らしめ本人は郷里に歸らしめたり

◎俚謠正調　うろ子

△虫

秋の哀れを蟲から聞いて　名月と語ろう草の庵室

油斷して居りや早秋風よ　つゝれさせてふ蟲が啼

△砧

打ば病母がれ眼をば覺す　打にや氣に成翌朝の粥

ふけて月さへ傾ぶく軒端　孝をちからに打きぬた

●姦通と間違へる

富山縣西礪波郡福光町七千四十五番地當時京城南山町一丁目百十六番戶住居大工職法野源太郎（三九）同縣同郡東般若村大字東保當時南山町一丁目百十一番戶大工職菅野八太郎の兩名は一昨五日午後八時三十分頃南山町一丁目一番戶井村文吉方に於て喧嘩をなし菅野は右食指及び右肩を毆打せられ微傷を負ひたる旨南部署に屆け出でたるより掛官出張取調べたるに菅野は昨年十一月頃より法野方に同居し居たる事あるも家內常に不和なるより本年八月初め同家を出で前記井村方へ雇はれ同居し居るに同業の事とて法野は時々行來をなせしが同日も菅野方に來り突然打ち掛かりて亂暴を爲したるものなる原因は法野の妻菜と菅野とが以前より姦通せるものゝ樣誤解せしに依るものと判明法野は誤解なりし事を悔び菅野に謝罪して引下りしとは馬鹿な奴

●六十爺の廓通ひ

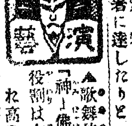
仁川宮町三丁目三味線屋の爺某は既に六十路の坂を越したる禿爺なるが今の店は伜の某に讓り自分は敷島遊廓附近に借家して女房れ何と佗住居を爲せるが肌へ凉しう吹き起る風が持て來る三味、太鼓、たつな文句に氣を誘はれてにや片足どころか兩足迄棺桶に踏み込んだる年を爲てつい此程敷島樓へと登樓なし千兩（二九）となん呼べる姥櫻を對妓に一夜の春を買ひたる處千兩の取持や宜かりけん爺さんは忽ち骨拔鰯の其れの如くグニャ〱に成つてはモウ夢中、其後と云ふものは妻子の手前も憚らず毎夜〱千兩の許に通ひ詰め鼻毛の有りたけを讀まれ居れりとか之れも風の便りに聞が儘に

●松春亭樓上の捕物

栃木縣芳賀郡宮大貫町六十六番地平民當時龍山旭町居住三木事鈴木岩吉（三五）は去る五日午前五時頃龍山坊青坡一契の路上に於て同所居住土方今村某と金錢上の事より口論を始め棍棒を以て今村を毆打し頭部に負傷せしめて現場より逃走姿を匿し居りしが西部署の探知する處となり同日午後八時頃青坡の料理店松春亭に飲酒中取押へらる

●持逃げ小僧捕はる

仁川新町土佐紙會社の店員溝田友吉（十六）と云ふは數日前社內某の懷中時計を窃取し群山に高飛びしたるが一昨日群山にて逮捕せられたりとの通報仁川署に達したりと



▲●●●歌舞伎座 今七日の替りは「神」「佛」全十場にして重なる役割は左の如し

れ高（西井）神者（仁科）田村操妻たかく（桂木）れ袖（河野）種田熊藏（角村）女中よね、女中れ鶴（中村）手代政次郎、文法堂番頭、牛乳配達（大和）直藏父直兵衛、櫻木警部（松村）獵師米吉、天草娘れさな（有村）番頭直次、書生白木秀（北村）神者（木下）丁稚長太（三島）田舎者太吾平、石屋吉（美崎）大工駒藏（篠崎）獵師直藏、石川檢事正（愛澤）巡査中川（忍）石屋八、婆れ恒、巡査山田（高島）

吉凶鑑　本町五丁目　三一館判斷

九月七日舊七月廿三日九紫大安庚午ひらく△一白●部下統卒に恩威を失ふなかれ概して不快不利の日なり△二黑●如意進捗の日進み爲す事奏効す只發信發送に間違起り易し△三碧●詐欺詭計防ぐべし家事業務に付き痛心の事多し△四綠●隆昇の日なり大抵の企劃背繁に中る痴情を戒しむ△五黃●美潤の日收利又は快心の事あり但し虛誇扮飾を戒む△六白●不快の日謹愼を要す交際を結び協力共合の事差支なし△七赤●爭論紛擾事を戒しむ秘を洩らし腸胃を害ふ等口腹の過を惹起するなかれ△八白●誘惑に乘せらるゝなかれ住所を轉じ地位を轉ずる等わし△九紫●總じて澁滯停滯多き日なり盜難遺失を防ぐべし

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し



◀平民文庫▶

▲西小門通り日の出亭のれ初女郎は好さんに根引せられて定まりの赤い手柄をかけた丸髷姿も初々しく南大門や明治町の朝市に姿を見せる御亭主さんは京釜線乘込みの案內掛りだとか小僧君の所謂天下の一大事でもないが當文庫には縁故深き同裙の事なれば一寸紹介する（注進生）▲れ茶でも召れ（小僧）▲明治町一丁目大和湯の向ひ仁川丸萬支店の古代の布袋和尙の額に優曇華が咲いたので大評判御見物下さつて額の鑑定が願ひたい（茶八生）▲先日相談の相陳に見へました西小門通りの繼子苛めは全く見て居られません僕が亭主なら直樣離縁するが（隣りの人）



▲徳川慶喜公は何年に公爵に成られましたか御存じの御方は知して下さい（目盲生）▲昨日の續き一駒溝落ち三ッ目引き背き東西イ東西イ、兹許御覧に入れまするは平民文庫係記者、東西イ東西イッ（小僧）▲偖も其後然る程にマンマと首尾よく筋斗打つて溝の中に墜ち込んだ一駒は打ち所や惡しかりけんウンとも云はず仰向反りかへつて死人の樣何樣所は人の往來も杜絶たる敷島裏時刻は如法闇夜の十二時過ぎ若し此の儘にして打過ぎたれば廿五歲の女盛りを哀れ可愛の主が住居なる敷島樓裏の溝の泥と化すべきであつた▲が何は天祐は彼れの頭に宿つて居たと見へ時も時各樓は風呂を終うべく其の濁り湯を拔き棄てたのが流れ〱て一駒の咽へ流れ込んだので難なく息を吹き返した▲息を吹き返した彼は少時が程は我れとしもなかりしも漸う心付いたものゝ見へ痛み所を撫で擦つエンヤラヤッと這ひ上つて這ひ寄つたる敷島樓の裏小門口▲話しは代つて茲に同樓の飯炊婆さんは旦那の松さんから云ひ付けられたこともあれば一駒さんはモウ來相なもの餘り遲いが何うしたのか若しか差し閊へがあつて來ないのなら裏の縮りが肝腎と掛金へ手を掛けたトタン小門の外には何うやら人の唸き聲▲吃驚どは爲たれど何にやら知れぬに逃げもならず、一生懸命の勇氣を鼓つて誰だねと誰何うた▲トれ婆さん助けて妾だよと霜夜に悩ぶ蟲の樣な聲は聞き覺へある旦那の寵妾一駒の方▲何うした事と見れば如上の泥鼠―イヤ泥猫姿理由は兎に角萬一人に見付けられては一大事と引張り込んで誰れにも知らせず松さんと三人で拔きかけた湯を堰き留めての大掃除が濟んだのは夜も明け離れた四時半過▲見れば大した怪我もなきに婆さんの浴衣を借り着して狐鼠り逃げる樣に歸つた▲婆さん一枚しか無い着物を借りられたので何うにもならず一駒が脫ぎ棄てた派手な浴衣を着て居たのも事實だ▲此の一伍一什誰れ知る者もないと思つたは一駒の誤りであつたは即ち之れで事實である現に爲て居る縮帶は即ち其の夜の名殘である▲何うだ一駒返答あるか（係）▲昨紙本項中敷島の山樓とあつたは誤りにして一山樓本店の一駒と訂正（係）

晴れ　五日（華氏）　最高溫度　七一、二　最低溫度　六一、五

各種 **洗濯石鹼** 專門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求職 多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず 氏名在社（四二一）
●被雇度 中學二年修業年廿五個人商店に被雇たし 氏名在社（四二五）

物件部

●求宅地 官吏むき家屋建築に付き格安の宅地二三十坪買入たし 京城旭町一丁目五十三ノ四 安藤
○龍山電話格安に至急讓渡したし 氏名在社（四二三）
●龍山未設電話賣却又は貸渡したし 氏名在社（四二四）

廣告

●迷犬 雌犬毛色頭及尾茶褐色胴体は白黒斑點有之迷込有飼主心當の者は至急本欄係へ

第二回營業報告 貸借對照表

資産之部

未拂込株金	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇
興業費	九二、二五八、〇六五
貯藏品勘定	一二、〇〇八、五五九
興業費	二一一、五二二、七九二
未決算勘定	
假拂金	七三、五四一、六八〇
有價證劵	四、九二四、〇〇〇
銀行預金	四九五、八三八、〇七〇
海外註文品	
代內渡金	一五七、五七二、九〇〇
韓美電氣會社貸	一、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
收代金	
現金	三一〇、九三〇
合計	四、四九七、九七六、九九六

負債之部

資本金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
契約保證金	八、五一六、四六〇
身元保證金	二六、三二〇
未拂金	一五六、四一三、一二〇
仕拂手形	六二一、三八三、二八〇
借入金	七〇〇、〇〇〇、〇〇〇
前期繰越金	五、三七七、八一〇
當期利益金	六、〇二五、〇〇六
合計	四、四九七、九七六、九九六

損益計算

收入	一七、〇八二、一二五
支出	一一、〇五七、一一九
差引利益金	六、〇二五、〇〇六
前期繰越金	五、三七七、八一〇
合計	一一、四〇二、八一六
後期繰越金	一一、四〇二、八一六

右之通ニ候也

明治四十二年八月

日韓瓦斯電氣株式會社

專務取締役 岡崎遠光
取締役 高松豊吉
同 久米良作
同 大橋新太郎
同 山口太兵衛
同 白寅基

右調査候處相違無之候也

監査役 伊藤幹一
同 平澤道次
同 金時鉉

取締役澁澤榮一辭任ニ付補缺選擧ヲ行ヒシ處白石直治當選シ監査役任期滿了ニ付改撰ノ結果前任者何レモ再撰セラレタリ

神戶資生分院●花柳病一般、痔疾注射療法
京城梅毒病院
新築落成入院隨意
京城相生町（南門湯隣）
院長 元兵庫縣病院醫員 驅梅病院醫長 醫學得業士 蘆田耕平

消毒用デシンフォルマリン外一式
病虫害驅除豫防藥一式
工業用藥品一式
農具種子苗木肥料類
京城本町一丁目（長谷川町筋）
三輪商會 電話三八六番

EDP埃及金口莨



○嗜莨家諸君○
ニコチンの中毒なく口中に芳香と快感を得んとする諸君は本品を用ひられよ紳士紳商に向け進物を贈る諸君は優美にして廉價なる本品を用ひられよ
（百本入金七十五錢以上）

直輸入商 京城本町二丁目
日希商會 電話二百廿二番

藥學博士丹波敬三先生發明
消毒 防臭 殺菌劑
クレシン
韓國內部衛生課御試驗濟
韓國各官衙
統監府各官衙
陸軍各官衙
御用品
販賣元 東京 合資會社 高田商會銀座販賣店
韓國特約店京城本町 山岸天佑堂藥房（電話三百七十二番）

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す牧場夙に此に留意し好良の食料を給す
京城本町五丁目（電四七番）
販賣元 川仁 松尾支店
京城東四軒町（電七五番）
搾取所 松尾牧場
●牧場搾取の牛乳を受飲せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

入院隨意
內外科
小兒病
梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院 電話（三二六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

南山の風景を目前に眺め浴場の設備あり

待合 貸席 へ船
京城南山町一丁目 電話千百三十五番

入院隨意
松岡醫院
南山町二丁目 電話六七五番
各科診療

眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄（電話三三）

解雇廣告
元助手 江島岩身
右之者今般不都合の所爲有之候に付解雇致候間自今當院に一切關係無之此段廣告候也
九月一日 南大門外
梅毒淋病專門 戶田病院

待合 永樂町一丁目 嬉野

馬車配達
●滋養と牛乳●
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲 電話壹〇六九番
●衛生と消毒●

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
和洋酒、（回）精酎、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候（電話二五一番）

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
辯護士 岡田榮
京城旭町一丁目六十七番戶（電話三九八番）

日韓印刷株式會社
營業科目
活版、石版、銅版、各種印刷、帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷諸材料販賣
遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候
本社 京城明治町三丁目 電話三三三番
出張所 東京麴町區麴町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

織居商店の大發展
自轉車部移轉開設廣告
從來本町四丁目本店內にて時計及寫眞機と共に營業致居候處店舖狹隘の爲め今般自轉車部を本町二丁目に移し益業務に勉强仕候間倍舊御引立願上候

新荷着
英國製
コンマンダー號 ケンネット號
スチィトホーム號 サクセス號
米國製
クリーブラント號 ウエスト號
ギレック號 セ子ラル號
修繕は特に迅速丁寧に可仕候
京城本町二丁目
織居自轉車部

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四丁目吳服店 電話九番
東京海上運送火災保險株式會社
資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

折箱製造元
京城明治町一丁目五十番戶 漢城病院下横へ入ル
箱信事 鳥山商店

特定御用 牛乳 荒井牧場 電話一〇五六

★株式會社百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番戶 電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下松阪、
東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七輪、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、
山陰道 宮山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、
山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、
南海道 串本、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌、
台灣 臺北、臺南、
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、濟州、馬山、
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告（電話十番）
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店 貨物及船客取扱店
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 九月二十六日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 九月九日正午時出
●大連、太沽、牛莊行 山東丸 九月十四日午前四時出
●大連、太沽、牛莊行 酒田丸 九月三十日正午時出
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 九月八日午後出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金四十錢 ▲三ヶ月 [illegible] 前金郵稅 [illegible]
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 ▲四號活字十八字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城新報社 京城西署西小門通 電話六六三番